

カーボンニュートラルへの取り組みと 災害時の備えとして活用

eLINK(ゲートウェイ内蔵仕様)、EV

① 停電時における非常用電源

停電時には、非常用電源として、災害対策本部に電力供給

② 平常時には電気自動車への充電装置として活用

③ カーボンニュートラル化に向けた機能開発・検証用途として活用



- ☆ 停電時は分電盤で系統から切り離し、EV・PHVから電力供給
- ☆ 設定した時刻に充電・給電を行う予約運転
- ☆ クラウドサーバに接続し、モニタや充放電制御などの開発・実証に利用

◎ 停電時に実際に活用

7月28日20時半、樺本チェーン埼玉工場で約3時間の停電が発生。
その間、構内で使用しているEVから、eLINKを介して厚生センター1階談話室の照明、
自動販売機、トイレの照明・電動水洗に電力を供給。初動対応に当たったスタッフや待機中
の夜勤者に、eLINKで稼働した自動販売機も利用できました。
今後、他工場(長岡京・兵庫・岡山)にもeLINK、EVを配置し、防災体制の強化を図ります。